

霊峰大山を描く

室井 澄 絵画展



11月14日(土)～29日(日)まで、名和公民館で、兵庫県赤穂市在住の日本画家室井澄さん(95)の絵画展を開催しました。

50代の時に初めて訪れた大山に魅了されて以来、スケッチブックを片手に200回以上訪れては、大山を描き続けておられます。今回は大山の絵を中心に46点の作品を展示しました。

14日・15日に行われた室井



▶一人一人に合った言葉を贈る
室井さん

さんのサイン会は時間延長をするほど好評で、会場は長蛇の列ができました。

来場者は634人。そのうち県外からも70人が来場され、名和公民館が開催した展示会では、過去最高の人出となりました。

室井さんの力強くかつ繊細な作品やスケッチブックに描かれた風景、また95歳という年齢に驚きの声が上がっていました。



▶熱心にスケッチブックを見る
来場者

大山西小学校

大山宿泊体験塾

大山西小学校4年生から6年生の児童49人が参加し、11月29日から1週間、大山青年の家で通学合宿を行いました。

期間中、家族から離れ、洗濯、配膳を自ら行い、テレビ、ゲームやおやつのない生活を体験しました。

夜は、写仏やポーセラーツと活動は多彩で、特に「家族への手紙」では、親から受け取った手紙を読み、「家族は、自分のことをこんなに思ってくれていたんだ」と気づき、感極まって涙する児童もあり、たくさんの思い出を作った1週間でした。



▶一週間をふりかえり、感想文を
まとめました



▲活気のある合同練習

熱気にあふれて

片木杯青少年育成剣道大会



青少年育成剣道大会は、町内企業の(株)片木アルミニウム製作所(片木威社長)からの寄付により運営されています。今年は12月6日に大山西中学校体育館で行われました。県西部から174人の小学生が参加し、日ごろの鍛錬の成果を競いました。

また、各部門の優勝から3位までの入賞者にはオリジナルの盾が贈られました。大会終了後には、恒例の合同練習があり、参加者は、片木社長や各団体の指導者と一緒にさわやかな汗を流しました。



▲大会オリジナルの盾